

# 大規模露地野菜産地の維持・強化

県西農林事務所坂東地域農業改良普及センター

坂東市岩井地区は約半世紀前に夏ネギおよびレタスが導入され、JA岩井園芸部の野菜販売額の約85%をこの2品目が占めています。

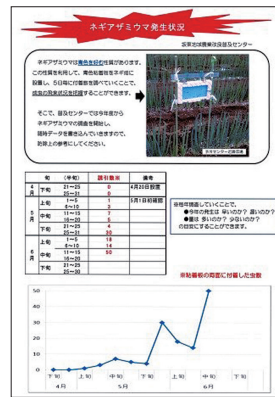
しかし、古くからの産地ゆえに、難防除病害虫や残肥の蓄積、実需者ニーズに対応した安定生産が課題となっています。これらの対策を継続して図っていくことが産地の維持・強化には不可欠となっています。

## ネギの難防除病害虫対策と新技術開発

難防除病害である黒腐菌核病について、土壌消毒と定植直後の殺菌剤灌注を組み合わせた体系防除を確立し、普及を図っています。

虫害ではネギアザミウマに対して、予察ほを設置して適期防除を推進するとともに、薬剤抵抗性検定結果に基づく効果的な防除を進めています。

また、実需者から要望のある秋冬ネギの面積が拡大しつつあり、被覆資材を利用した夏季高温対策技術について検討しています。



予察情報と秋冬ネギ夏季高温対策（右写真）

## 秋レタス施肥マニュアル

県西農林事務所坂東地域農業改良普及センター（平成25年度）

○秋レタスの基準窒素量

10月どり 品種：サウザー 等 基準窒素量 10kg/10a	11月上旬どり 品種：つふル等 基準窒素量 15kg/10a	11月中下旬どり 品種：早生ワサ等 基準窒素量 15kg/10a
--	---	---

○理想的施肥について

土壌中窒素量 - 肥料窒素量 = 必要窒素量

（例：10t/10a - 10 - 3 = 7）

○秋レタスの施肥量（秋レタスプレミアム）

土壌中窒素量 (秋レタス) (kg/10a)	秋レタス プレミアム 使用量 (kg)	土壌中窒素量 (秋レタス) (kg/10a)	秋レタス プレミアム 使用量 (kg)
0	5	0	7.5
2	4	3	6
4	3	6	4.5
6	2	9	3
8	1	12	1.5
10以上	0	15以上	0



診断施肥マニュアルと緑肥試験（右写真）

## レタスの適正施肥と線虫対策推進

土壌中の可給態窒素および硝酸態窒素を測定し、これらを考慮した診断施肥技術を確立して推進しています。

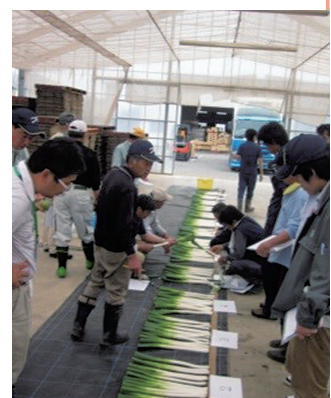
秋どりレタスでは線虫の被害が散見されるようになってきたため、現地試験・事例等に基づく防除マニュアルを作成し体系防除を進めています。

また、ネグサレセンチュウに防除効果が期待できる緑肥についても検討しています。

## JA岩井園芸部の活動支援

JA岩井園芸部では、40年前から立毛競作会を開催し、現在は夏ネギについて5～8月に4回実施しています。成績優秀者の技術については、冊子にまとめて部会員全員に配布し、技術の高位平準化と普及を図っています。また、青年部では4つのグループで研究活動を行っています。

普及センターではこれらの取り組みの支援、審査・助言等をJAと連携して行っています。



夏ネギ立毛競作会